

「あったか愛媛NPO応援基金」 令和5年度助成先活動報告



【発表者①】

特定非営利活動法人TE to TE
理事 山本 一人氏

【発表者②】

特定非営利活動法人宇和島NPOセンター
代表理事 薬師神 理子氏

特定非営利活動法人TE to TE



久万高原町西谷地区は、高知県県境近く、人口128人、高齢化率72.7%の地域。TE to TEは地域活性化と高齢者支援を目的に地域住民が立ち上げた団体。

令和4年度より久万高原町役場と協働し、地域住民が主体となって「移住者誘致活動」をスタート。地域住民が企画・運営する「移住体験ツアー」を始めたものの、令和4年度は実施回数0回、ツアーへの問い合わせ0回という結果に。その反省を踏まえ、令和5年度は「移住者向け住宅整備」と「情報発信」を強化して、『移住の先進地を目指す』ことに。

特に力を入れた情報発信の強化は、『あったか愛媛NPO応援基金』助成事業を活用して、地域情報誌へ広告を掲載。地域一丸となって、移住者誘致活動に取り組んだ結果、2組の家族の移住が決定！休校となっていた地元の小学校も再開し、移住者が地域行事等へ積極的に参加してくれるなど、地域活性化につながった。

特定非営利活動法人 TE to TE

これまでの主な活動内容

- 交通弱者支援 → 『公共交通空白地有償運送事業』
- 高齢者健康支援 → 『健康サロン事業』
- 独居老人支援 → 『声掛け&配食サービス事業』
- 高齢者支援 → 『困りごとお助け事業』
- 少子高齢化対策 → 『移住者支援事業』
- 地域活性化 → 『地域活性化事業』
- その他 → 『その他の事業』

『移住者支援事業』

○ 地域の現状と課題

少子高齢化による、地域行事や自治会活動の維持・存続の危機

地元小学校の存続の危機

地元唯一の柳谷小学校が令和5年度は児童数“0人”となることから**休校**が決定し、地域住民の危機感が高まる。

地域課題を解決をしたい！！

早急な移住者受入れ対策が必要！！

「小学生の子供さんのおられる移住希望者」に積極的にアピールしよう！！

令和4年度より町と協働し移住者支援活動を進めたが、成果が出ないため

令和5年度は『あったか愛媛NPO応援基金』を活用し

移住の先進地を目指す！

という目標を掲げて、

地域一丸となって

移住者誘致活動に取り組んだ。



『移住者支援事業』

○ 令和5年度、1年間の移住者支援事業の検証

移住家族数

2組

大成功！！

特定非営利活動法人宇和島NPOセンター



『あったか愛媛NPO応援基金』助成事業を活用し、「宇和島語り部プロジェクト」を展開。プロジェクトの目的は、平成30年7月の豪雨災害の経験を含む、宇和島の歴史の伝承活動を行う様々な団体が集まり、課題解決に向けて専門家の助言を受けながらワークショップを通じてチーム形成を行うこと。そして、その伝承活動を映像として残すこと。

令和6年1月には「地域の『宝』を語り継ごう～宇和島の災害・文化・歴史を語り継ぐ～」というイベントを開催。宇和島の歴史・文化・災害について、伝承活動を行っている団体を市民の方々に広く知ってもらう機会を設けた。

また、豪雨災害の被害の様子をまとめたDVDを作成し、その記録と記憶を後世に残した。作成したDVDは、中高生の防災教育等に活用。これからも宇和島の歴史を大切に語り継いでいきたい。

【目的】

平成30年豪雨災害を始め、宇和島の歴史について伝承活動を行っている団体が集まり、課題解決に向けて専門家に助言をいただきながらワークショップを行いチームの形成をする。

また、その伝承活動の映像を撮影し、残していく。

①宇和島語り部発足プロジェクト



②地域の「宝」を語り継ごう 宇和島市の災害・歴史・文化を 伝承している団体を知ってもらおう



③DVD作成(平成30年7月豪雨災害)

宇和島市は平成30年7月豪雨により、13名のかけがえのない市民の命を失う（災害関連死含む）とともに、約1ヶ月間にわたる断水や、本市の基幹産業である柑橘をはじめとする生業に大きな被害を受け、希望までもがそぎ取られるような瞬間を経験しました。



吉田町北